

小中連携だより No. 48



令和6年5月31日（金）

広田小中連携推進会

文責 広田小学校 副校長 川口 耕治

広田中学校 主幹教諭 瀬尾 祥江

大成功！ 小中学校体育大会！



5月19日、雲一つない最高の天候の中、広田小中学校体育大会を開催しました。

今年度より5月開催となった体育大会。進級、クラス替え、中学校入学、6年校舎への移動等、環境が変わって間もない、例年より練習期間も短い中でしたが、子供たちは、精一杯の姿を發揮し、自分たちの手で素晴らしい体育大会を作り上げました。

また、今年度より来賓の皆様はもとより、どなたでも参観できる体育大会として開催しました。ご家族の皆様、地域の皆様に見守られ、小学校在校生も多く詰めかける中、大きなご声援をいただき開催できたことに、大変感謝しております。

今年度第1号となります広田小中連携だよりは、児童生徒の声を紹介しながら、体育大会の様様をお伝えします。

初めて中学生と取り組む体育大会から、6年生は大きな収穫を得たようです。

児童の声として、多くの児童が「よかった」と回答しました。

（「とてもよかった」…80%、「まあまあよかった」…18% 合わせて98%）

その理由として、中学生と取り組むことで、今までにないレベルの高い体育大会を経験できたことが挙げられます。

特に、中学生のレベルの高さを感じた場面は、

- ・行進（腕を振る高さ）や、オリジナルラジオ体操等一つ一つのきびきびとした動き、
- ・応援などの団結力、「勝つ」という意欲
- ・吹奏楽部の演奏、ブロック対抗リレー等の競技の力強さ、等と回答してくれました。





また今年度は、「長縄とび」や「小中交流リレー」等、小学生が中学生と共に出場する種目も数多く設けました。練習、本番を通して、より一層仲を深め、中学生に対する「憧れ」も強くなったようです。

「体育大会を成功に導いてくれた中学生は、6年生にとって憧れの存在となりましたか？」の質問には、なんと98%の児童が、中学生を憧れの存在であると回答しました。

中学3年生にも、6年生の頑張りについて、質問してみました。中学生は、このように感じているようです。

中学生の声！

- ・何事にも一生懸命で、いつも大きな声でしっかりと返事や挨拶をしてくれたので、それによってこちらが元気をもらいました。ちょっとしたアドバイスでも「分かりました。」「ありがとうございます。」と返事をしてくれたので、とても嬉しかったです。
- ・学年種目であるリレーでは、バトンをうまくつなげる練習をしていたり走順を考えたりと、熱心に取り組んでいる姿がとても素晴らしいと思いました。
- ・テントの中で常に応援が目立っていたのは6年生でした。遠くからでもすごく応援している姿が見えて元気をもらいました。初めての体育大会なのにすごいなと思いました。
- ・これぞ広田小の6年生だなと思い、小中連携の効果ができていると思いました。
- ・一生懸命で明るいところが6年生の魅力で、とてもいいところです！！
- ・体育大会に一生懸命に取り組んでいるところが素敵でした。これからも同じ校舎で学んでいく仲間としてよろしくお願いします！！

日々の練習を通して、団結を深めながらお互いの頑張りや良さを讃え、成功させていこうとする心のつながりに、今回の“小中学校体育大会”のすばらしさを改めて感じました。

また児童生徒の活躍の土台には、小中学校それぞれが校内研修において取り組んできた学びの成果があると感じています。

昨年度から、小学校では学級会に力を入れ、児童の当事者意識を高める話し合いを大切にしながら学級力向上を目指しています。中学校では、様々な場でプレゼンテーションに取り組み、表現力の向上を目指しています。この日々の学びの積み上げが、児童生徒の確かな力として花開き、体育大会の成功につながっていると感じております。

今後も、様々な取組を通して、より充実した小中一貫型教育を進めてまいります。

今後も、広田小中学校をよろしくお願いいたします。

★広田小中学校、それぞれのHPに、小中連携だより（カラー版）を掲載しております。